

顔(眼や口)の症状

- 口内炎
- 視界がぼやける、物が二重に見える、いつもと見え方が異なる
- 眼が痛い、充血 ○ 白眼が黄色くなる
- 顔に力が入らない

呼吸の症状

- 息切れ、息苦しい ○ 痰のない乾いた咳

胸部の症状

- 動悸 ○ 胸の痛み

胃腸の症状

- 腹痛や腹部の圧痛(押すなど圧迫した時に現れる痛み)
- 吐き気や嘔吐がある

手足の症状

- 手足に力が入らない
- 手足にしびれやまひ、刺すような痛みがある

排泄(尿・便)の症状

- 下痢(軟便) ○ 排泄回数の増加
- 便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある
- 濃い色(赤褐色や褐色)の尿がでる
- 便・尿がでにくい ○ 便・尿失禁

! ヤーボイの副作用は治療が終わってから数週間後、数ヵ月後にも現れることがあります。治療が終わった後も気になる症状があれば医師に相談してください。

ヤーボイによる治療を受ける方へ

※ ヤーボイとは

ヤーボイは、「免疫機能へのブレーキ」を解除することで、がん細胞を攻撃するT細胞の働きを維持するお薬です。

ヤーボイによる治療は、手術による治療が難しい悪性黒色腫、腎細胞癌、高頻度マイクロサテライト不安定性を有する結腸・直腸癌、非小細胞肺癌、悪性胸膜中皮腫及び食道癌の患者さんが対象となります。

※ 投与方法

ヤーボイは、静脈から30分かけて点滴注射で投与します。投与量は、患者さんの体重によって決まります。

※ 治療スケジュール

- 悪性黒色腫、腎細胞癌、高頻度マイクロサテライト不安定性を有する結腸・直腸癌

ヤーボイは投与した次の日から20日間は休薬し、3週間ごとに繰り返し4回投与します。

- 非小細胞肺癌、悪性胸膜中皮腫、食道癌

ヤーボイは投与した次の日から41日間は休薬し、6週間ごとに繰り返し投与します。

Bristol-Myers Squibb 株式会社 小野薬品工業株式会社

※ ご注意いただきたいこと

- ヤーボイは重大な副作用を引き起こす可能性があるため、何らかの徴候や症状、特に「ご注意いただきたい症状」(2,3ページ)が現れた場合は、すぐに主治医に連絡してください。これらの症状が現れても、市販の薬や栄養補助食品など主治医が処方したもの以外は使用しないでください。

- ヤーボイは移植臓器に対する拒絶反応を起こす可能性がありますので、臓器移植歴(造血幹細胞移植歴を含む)がある場合は必ず主治医に知らせてください。

※ ご注意いただきたい症状

全身の症状

- 発熱がある ○ 疲れやすい ○ 筋肉の痛み
- いつもより出血しやすい ○ むくみがある
- 腰・背中での痛み

皮膚の症状

- かゆみがある
- 皮膚がむける(水ぶくれがある場合と、ない場合がある)
- 発疹がある、赤くなる(かゆみがある場合と、ない場合がある)
- 皮膚が黄色くなる ○ あざがでやすい

脳や神経の症状

- 頭痛がある ○ 意識がうすれる
- めまいや失神がある
- 行動の変化がある(性欲が減る、イライラする、物忘れしやすい、注意力が散漫になる など)
- うなじがこわばり硬くなって首を前に曲げにくい

1 消化管障害

下痢や大腸炎（大腸でおこる炎症）を発症することがあります。消化管に穴が空く消化管穿孔を起こす可能性もあるため、症状が現れた場合にはただちに医師に連絡してください。

主な症状・注意が必要な症状

- 下痢（軟便）、排便の回数が増える
- 便の異常（便に血や粘液が混じる、便が黒い）
- 腹痛、腹部の圧痛（押すなど圧迫した時に痛む）
- 吐き気、嘔吐 ○ 発熱

2 肝障害

血液中の肝酵素（AST、ALT、総ビリルビン値など）の数値が基準値より高くなります。定期的に肝機能検査を行います。

AST：アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

ALT：アラニンアミノトランスフェラーゼ

主な症状・注意が必要な症状

- 血液中の肝酵素の増加
- 皮膚や白眼が黄色くなる（黄疸）
- いつもより疲れやすい

3 皮膚障害

かゆみや発疹など皮膚障害が現れることがあります。発熱を伴う全身の発疹や急激に悪くなった場合にはただちに医師に連絡してください。

主な症状・注意が必要な症状

- かゆみ ○ 発熱
- 発疹がある、赤くなる（かゆみがある場合と、ない場合がある）
- 皮膚がむける（水ぶくれがある場合と、ない場合がある）

4 神経障害

筋力の減退、手足のしびれや脱力などが現れることがあります。

主な症状・注意が必要な症状

- 手足や顔に力が入らなくなる
- 手足にしびれや刺すような痛みが現れる
- めまい、失神 ○ 歩きにくくなる

5 内分泌障害

新陳代謝を活発にする甲状腺ホルモンなどを分泌する内分泌器官に炎症を起こして、下垂体炎、下垂体機能低下症、副腎機能不全などを発症することがあります。

主な症状・注意が必要な症状

- いつもより疲れやすい、眠くなりやすい
- 頭痛 ○ 低血圧
- 視界がぼやける、物が二重に見える（視野欠損）
- 行動の変化（性欲が減る、イライラする、物忘れが増えるなど）
- 電解質異常（血液中のカリウムやナトリウムなどの数値が基準値よりも低い状態です）

6 腎障害

腎臓の機能が低下すると、血液中のクレアチニンの数値が基準値よりも高くなります。

主な症状・注意が必要な症状

- むくみ（浮腫） ○ 尿の色が濃い（赤褐色など） など

⚠ これらの症状が現れたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に知らせましょう。また、ヤーボイの副作用は治療が終わってから数週間後、数ヵ月後にも現れることがあります。治療が終わった後も気になる症状があれば、医師に相談してください。

7 間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。炎症が進むと、肺胞が硬くなって空気を十分に取り込むことができなくなり、命に危険が及ぶおそれがあるため注意が必要です。

主な症状・注意が必要な症状

- 息切れ、息苦しい ○ 発熱
- 痰のない乾いた咳（空咳） ○ 疲労 など

8 筋炎

筋肉の炎症により、筋肉に力が入りにくくなったり、疲れやすくなったり、痛んだりする病気です。

主な症状・注意が必要な症状

- からだに力が入らない ○ 発熱
- 筋肉の痛み など

9 心筋炎

心筋の炎症により、胸痛や発熱などの症状が起きます。急性の場合、命に危険が及ぶおそれがあるため注意が必要です。

主な症状・注意が必要な症状

- 胸の痛み ○ 動悸 ○ 息切れ ○ 発熱 など

10 ぶどう膜炎（眼の症状）

眼球を覆う膜に炎症が起こる病気です。進行すると失明する可能性があるため注意が必要です。

主な症状・注意が必要な症状

- 霧がかかったように見える（霧視）
- 眼の充血 ○ 眼が痛む
- 虫が飛んでいるように見える ○ まぶしく感じる など

11 脳炎、髄膜炎、脊髄炎

脳や髄膜（脳や脊髄を覆う膜）、脊髄に炎症が起こる神経疾患です。

主な症状・注意が必要な症状

- 発熱 ○ 頭痛 ○ 吐き気、嘔吐
- 意識がうすれる
- 行動の変化（注意力が散漫になる、記憶力の低下など）
- うなじがこわばり硬くなって首を前に曲げにくい
- 両足のしびれ・まひ ○ 腰・背中・の痛み
- 便・尿がでにくい、便・尿失禁

12 そのほかの副作用と症状

貧血やリンパ球減少	血液中のヘモグロビンやリンパ球の数が減ることがあります。ヘモグロビンが減ると貧血を起こしやすくなったり、疲れやすくなったりします。リンパ球が減ると、風邪やその他の感染症にかかりやすくなります。
食欲減退	治療中に食欲が低下することがあります。食欲減退はよくみられる副作用のひとつです。
関節痛	関節が痛む、関節が腫れるなどの症状が現れます。

⚠ 炎症性の副作用について

炎症性の副作用に対しては、**副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）投与やホルモン補充療法**を行います。